

## かみいち総合病院改革プラン評価表(経営効率化指標)

## 1. 財務に係る数値目標

主な数値目標	平成21年度			平成22年度		取組内容	評価委員の 評価・指摘事項
	計画値	実績値	達成状況	計画値	実績値		
経常収支比率	92.9	93.3	A	98.7		1 地方交付税等の財政措置の拡充に伴い一般会計からの繰入金が増額され経常収支比率が改善した。 2 医師不足等により医業収支比率の改善が進まず、目標数値に達成しなかった。 3 医業収益を確保するため、職員から提案の収入増加対策を22年2月から実施したが、診療単価(入院)の増に至らなかった。	1 厳しい医療・病院の環境の中で一定の努力が見える結果となっている。 2 平成22年度数値目標を達成するためには、さらなる効率化を目指して事業規模や組織形態の見直しを行うかあるいは、目標そのものを現実的な数値目標やスキームに見直しを行い、経常収支、医業収支の均衡を図るようシミュレーション(病床利用率、平均在院日数、診療単価)を行うことが大事である。 3 行政のサポートや住民とのコミュニケーションがもっと必要である。
職員給与比率	60.2	61.2	B	52.9			
病床利用率(一般)	79.9	77	B	83.6			
平均在院日数(一般)	18	17.2	A	18			
医業収支比率	88.7	88.6	B	94.8			
不良債務比率	0	0	A	0			
患者1人1日当たり診療収入(入院)	26,247	26,148	B	28,765			
患者1人1日当たり診療収入(外来)	8,769	8,654	B	9,824			
患者1人1日当たり診療収入(医師)	341,102	311,875	B	342,893			
患者1人1日当たり診療収入(看護師)	61,154	55,500	B	69,671			
患者1人1日当たり薬品費	2,224	2,327	A	3,002			

## 2. 医療機能に係る数値目標

主な数値目標	平成21年度			平成22年度		取組内容	評価委員の 評価・指摘事項
	計画値	実績値	達成状況	計画値	実績値		
1日平均患者数(入院)	181	171.8	B	187		医師不足により、患者数が入院、外来とも前年度よりも減少した。	1 医師確保にさらに努力すること。 2 平成22年3月に郡医師会と開放病床に関し覚書を交わし病診連携(患者紹介、逆紹介等)の礎ができたがさらに進展するよう努めること。
1日平均患者数(外来)	501	472.8	B	517.5			
入院患者1000人当たり手術件数	12	12	A	14			
紹介率(%)	16.7	16.5	B	23.3			

(注) 1. 達成状況の欄は、A: 目標以上 B: 一定の実績 C: 実績なし により自己評価した上で評価委員会で評価されたもの

かみいち総合病院改革プラン 評価表 平成21年度分

取組項目	番号	内容	指標	目標値 H21	実績値 H21	達成状況 H21	目標値 H22	全体計画	実績及び成果等	平成22年度活動計画	評価委員の評価、指摘事項等
② 経費削減・抑制対策	1	医事委託業務の拡大による正規職員の削減	職員数	6,000千円 (1人減)	- (0人)	C	6,000千円 (1人減)	平成22～23年度 2人減 (削減額 22～23年度 12,000千円)	医事業務の専門性を高めるなど業務の効率化を図るため専門業者から1名派遣を受けたが、正規職員の削減は未実施となった。 計画外であるが、平成21年4月より総務課職員は、6名⇒5名とした。	引き続き委託業務範囲を見直し正規職員の削減に努める。	
	2	時間外勤務手当の抑制 (20年度当初予算比毎年5%減) H20 22,864千円(補正後31,374千円) H21 21,720千円( 〃 35,581千円) H22 20,635千円(予算 23,999千円) H23 19,603千円	人件費	9,600千円	3,327千円	B	1,000千円	削減額 21～23年度 11,600千円	診療部を除く、各部局における業務の効率化や時間外勤務を削減する取組で一定の成果(決算ベース)が得られた。 H20決算 26,282千円 H21決算 22,955千円	医師事務作業補助者の業務処理範囲の拡大と効率化を図り、時間外勤務の抑制を行う。  医療スタッフのさらなる協働、連携の推進	
	3	医療材料費の抑制	経費	23,200千円	21,853千円	B	6,000千円	・薬品費、診療材料の値引き交渉の強化 平成21年4月から値引率 医薬品8.1%→10%、診療材料3%増 (削減額 21年度 14,000千円)  22年度から共同購入を目指す 値引率:毎年1% (削減額 22～23年度 12,000千円) ・多剤投与(7剤超)の見直し 平成21年4月から (削減額 21年度 2,000千円) ・フィルムレス化(CR) 21年4月から (削減額 21年度 7,200千円)	薬品については、自治体病院協議会の医薬品値引調査結果等の情報をもとに、価格交渉(年2回)を粘り強く進め、目標を上回る10.7%を確保した。(値引額薬品13,310千円)  ・診療材料は年度当初をはじめ随時値引交渉を行っているほか、21年12月に平均3%超の値引き交渉を進めたが、22年1月から主要取引業者から平均2%の値引きに留まった。 (値引額 4,148千円)  ・平成21年4月からレントゲンの画像を電子化し、フィルムレス化(CR)した。 (削減額 4,395千円)	医療機器、材料等の物品購入や業務委託の手続き、価格の妥当性について検証する購買監査を実施し目標達成に努める。	
	4	業務委託の内容及び金額の見直し ・施設管理 ・外来受付など	経費	16,000千円	10,204千円	B	12,000千円	・施設管理委託内容の見直し 契約年数の複数年化 (削減額 21年度～23年度 20,600千円)  ・外来診療受付、会計システムを見直し 会計業務の集中化 (削減額 21年度～23年度 12,000千円)	・施設、設備総合管理業務について計画的効率的な保守点検を行うため、3年分の業務内容を点検精査した。単年度契約であるが大幅な経費の削減を図った。 H20 74,775千円 H21 68,565千円 ・外来診療受付の見直しや、会計業務の中央化(分散→中央)を、平成21年度中の実施を目標に準備を進めたが、同システムの改修や内部調整に手間取り、平成22年4月からの運用となった。 H20 28,564千円 H21 24,570千円	上記購買監査を実施し目標達成に努める。	
	5	医師等の増員に伴う経費の見直し (増額分)	人件費	▲ 120,000	0	C	▲ 80,000	・21年度 人件費 45,000千円、材料費等 75,000千円 ・22年度 人件費 30,000千円、材料費等 50,000千円 ・23年度 人件費 15,000千円、材料費等 25,000千円	医師3名の増員は不調。	医師の増員に努める。	
総括:②経費削減・抑制対策 ●総合計 91,400千円 ▲増額分240,000千円(人件費分)											

かみいち総合病院改革プラン 評価表 平成21年度分

取組項目	番号	内容	指標	目標値 H21	実績値 H21	達成状況 H21	目標値 H22	全体計画	実績及び成果等	平成22年度活動計画	評価委員の評価、指摘事項等
① 収入増加・確保対策	1	医師の増員	常勤医師数	300,000千円 (3名増)	0 (0名)	C	200,000千円 (2名増)	・平成21年度 増収額 300,000千円 内科医1名、小児科医1名、産婦人科医1名。 ・平成22年度 増収額 200,000千円 内科医(透折医)1名、麻酔科医 1名。 ・平成23年度 増収額 100,000千円 内科医1名。	医師の増員・確保するため、管理者である町長や病院長を中心に県厚生部並びに関連大学に粘り強く陳情を重ねたが、勤務医の開業もあり、増員は不調。	医師確保は至上命題であり、引き続き関連大学等への陳情を粘り強く推進する。	
	2	亜急性期病床の増床(8床→12床) (平成21年2月から)	病床数	4,500千円	4,189千円	B		増収額 4,500千円	平成20年9月から病床数を10床、平成21年2月から12床と逐次増床。	12床の維持・継続	
	3	精神科作業療法 (平成20年9月から)	診療報酬	2,500千円	4,253千円	A		増収額 2,500千円(5か月分)	平成20年9月から、専従の作業療法士1名を配置し、精神科作業療法の実施。	継続	
	4	フィルムレス化に伴う電子画像管理加算(平成21年4月から)	診療報酬	6,800千円	8,648千円	A		増収額 6,800千円	平成21年4月からレントゲンの画像を電子化し、同管理加算を算定。	完了	
	5	院外処方箋の発行抑制 (発行率 68%→50%)	薬	(7,100千円)	(3,490千円)	B		増収額 7,100千円(再掲)	院内の調剤体制の整備が十分でないため、院外処方箋の発行率 68%→60.3% 3,490千円(再掲)	引き続き目標達成に努める	
	6	診療時間の拡大 ・土曜(午前)診療(内科等) ・夕方(午後5時~7時)診療(小児科)	収入増加策				20,000千円	増収額 20,000千円(H22) 増収額 10,000千円(H23)	医師の増員・確保が困難なため取り組みができない。	同左	
	7	医師事務作業補助体制加算の取得、施設基準(100:1)を満たし、平成21年4月から加算取得する	診療報酬	2,200千円	1,412千円	B		増収額 2,200千円	平成21年10月から医師事務作業補助者4名を配置し、同11月から同補助体制加算(50:1)を取得。	平成22年4月から医師事務作業補助者を7名に増員し、5月から医師事務補助体制加算(25:1)を取得するとともに効果的な配置先を検討する。	
	8	臨床試験(治験)の実施	収入増加策	3,000千円	0	C	-	増収額 3,000千円	治験なし。	申請により実施する。	
	9	健診・ドック利用者の拡大(土曜ドック、女性ドック)	収入増加策	13,000千円	4,730千円	B	13,000千円	増収額 13,000千円(H21) 増収額 13,000千円(H22)	土曜ドック、女性ドックはなし。 平日のドック利用者の増。 H20 638人 H21 733人	平日ドック利用者の増に努める。 土曜・女性ドックはなし。	
	10	領収書裏面広告(22年度から)及びホームページのバナー広告(平成21年10月)の開設	その他	150千円	0	C	800千円	増収額 150千円(H21) 増収額 800千円(H22)	上市町ホームページ掲載取扱要綱(平成18年上市町告示30号)が定められているが未実施。	病院ホームページを充実し広告収入の確保に努める。	
	11	未収金の徴収強化—徴収専門員を配置し早期回収、訪問徴収の強化、法的措置(支払督促等)	未収金徴収	500千円	407千円	B	500千円	増収額 1,500千円(H21~H23)	平成21年5月から徴収専門員1名の配置を行った。訪問徴収の強化及び支払督促等の法的措置は未実施。	早期回収のため色別封筒等を利用するほか徴収専門員1名を継続する。	
総括:①収入増加・確保対策 ●総合計 684,550千円											

(注)1. 達成状況欄は、A: 目標以上 B: 一定の実績 C: 実績なし により自己評価した上で評価委員会で評価されたもの